

横越地区

歴史



「横越」という地名が初めて登場したのは、永禄7年(1564年)で京都醍醐寺の旅僧の費用帳に記載されています。『横越島』は文禄5年(1596年)の古文書にも見られますが、村としては慶長年間の新発田藩史料に記載されたのが最初です。江戸時代には新発田藩横越組の大庄屋所在地として横越島一帯の110数カ村を束ねる政治的中心地でした。明治22年(1889年)の町村制施行時には、横越、沢海、木津、二本木、小杉村が置かれ、明治34年(1901年)11月、5カ村が合併し、横越村が誕生しました。近年、道路整備等を足がかりに工業団地の造成や宅地開発が進み、平成6年には人口が1万人を超え、平成8年に町制を施行。平成17年3月21日、新潟市に合併しました。

おすすめスポット

- 4 北方文化博物館** ☎385-2001
越後屈指の大地主伊藤家の歴史と地方文化を、今に伝える豪農の館です。
- 5 大栄寺** ☎385-2032
曹洞宗選仏の大道場。沢海城主の墓や、芭蕉の句碑があります。節分の日、家内安全を願って豆まきが行われます。
- 6 阿賀野川床固め公園** ☎383-1000
阿賀野川の雄大な流れと、四季の草花やバーベキューなどを楽しめます。
- 7 光圓寺** ☎385-2266
出雲崎代官所の出張陣屋、旗本小浜氏の知行所跡があります。

特産品

長イモ、スイートコーン、梨、チューリップ
阿賀野川が育ててくれた肥沃な大地を活かし、米のほか、長イモ、キャベツ、ゴボウ、スイートコーン、チューリップ・スイセンの球根、切り花、梨、ぶどう、きのこなど、四季を通して多くの農産物が生産されています。また市内では珍しく、酪農と養豚も行われ、新鮮でおいしい牛乳と、やわらかくて高品質の豚肉も好評です。

まつり

- 8 木津薬師まつり** 7月28日
光明院(木津薬師)は、行基作と伝えられる如来像が安置されており、目の病を治すということで知られています。修験僧による柴灯大護摩と火渡り修業が行われます。
- 9 棧俵神楽(賀茂神社)** 9月上旬
稲ワラを編んだ棧俵を合わせた大きな口、ナスの目、カボチャの鼻、熊柁(クマビエ)の髪、歯は唐竹を割り組み合わせて金紙を貼り付けて作られた棧俵神楽が、毎年9月上旬、賀茂神社に奉納されます。



11 胞姫様 (安産の神様)
胞姫神御祭 4月15日
安産祈禱は常時。要依頼 ☎385-2303 (妙泰寺)



5 溝口家墓所 (大栄寺)



7 出雲崎代官所出張陣屋跡 (光圓寺)



6 阿賀野川床固め公園
☎383-1000
(江南区役所 建設課)
江南区沢海阿賀野川河川敷
P50台
遊具、バーベキューコンロ、テラス、トイレ、水道



5 大栄寺
☎385-2032
江南区沢海3-3-18
P10台
溝口家墓所、芭蕉の句碑
「いざゆかん雪見に転ぶ所まで」



4 北方文化博物館
☎385-2001
江南区沢海2-15-25
4月~11月 9時~17時
12月~3月 9時~16時30分
P200台
大人800円、小・中学生400円(団体割引あり、小・中学生日曜無料)
レストラン、食堂、売店あり



3 横越総合体育館
☎385-4477
江南区いぶき野1-1-1
9時~21時30分(日、月曜は18時まで)
第3月曜(祝日の場合は翌日)
P150台 大人100円、小・中学生以下50円(定期券あり)
アリーナ、ランニングコース他



2 老人福祉センター横雲荘
(江南区社会福祉協議会)
☎385-4321
江南区横越中央1-1-2
9時~16時30分(入浴は10~16時)
月曜(祝日の場合は火曜)、祝日、年末年始 P30台 市内60歳以上無料、市内60歳以下250円、市外大人450円、小中学生120円、未就学児無料、個室1日2,000円



1 江南区役所横越出張所
☎385-2111
江南区横越中央1-1-1
8時30分~17時30分
土・日曜、祝日、年末年始
P100台
バリアフリートイレあり